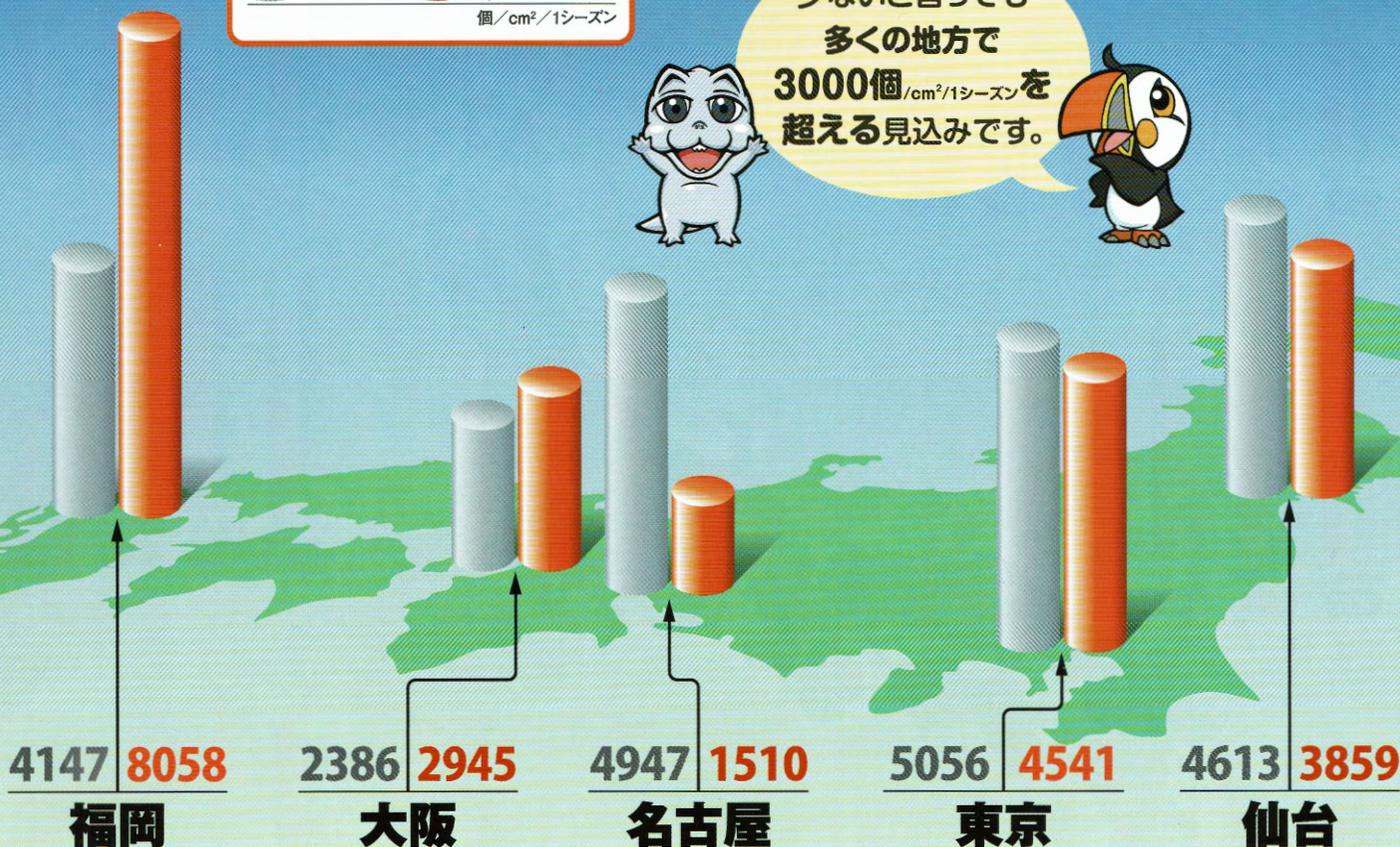


2019年の花粉は、 西日本地域、北陸、日本海側で 過去10年の平均より多くなりますが、 その他の地方はやや少ないか、同程度と なるでしょう。

10年平均 2019年(予測)
個/cm²/1シーズン

少ないと言っても
多くの地方で
3000個/cm²/1シーズンを
超える見込みです。



2019年の各地の 花粉飛散開始時期予測

- 4月上旬頃
- 3月下旬頃
- 3月中旬頃
- 3月上旬頃
- 2月下旬頃
- 2月中旬頃
- 2月上旬頃

2018年の春は全国的に花粉が多くなりました。特に東北南部から関東、東海にかけてヒノキ花粉が非常に多くなり、東京では1万個を超える大飛散でした。これは、2017年の6月から7月にかけての日照時間が極めて多くなったのが原因です。スギやヒノキは前年に多くの雄花が着くと、翌年に同じような気象条件でも雄花が減少します。2018年の夏も猛暑でしたが、スギやヒノキの花粉は前年よりもやや減少することになります。

2019年の冬の気候は、ほぼ平年並みと予想されるために、飛散開始は全国的に例年並みになり、関東から西では2月上旬から2月中旬になるでしょう。

